

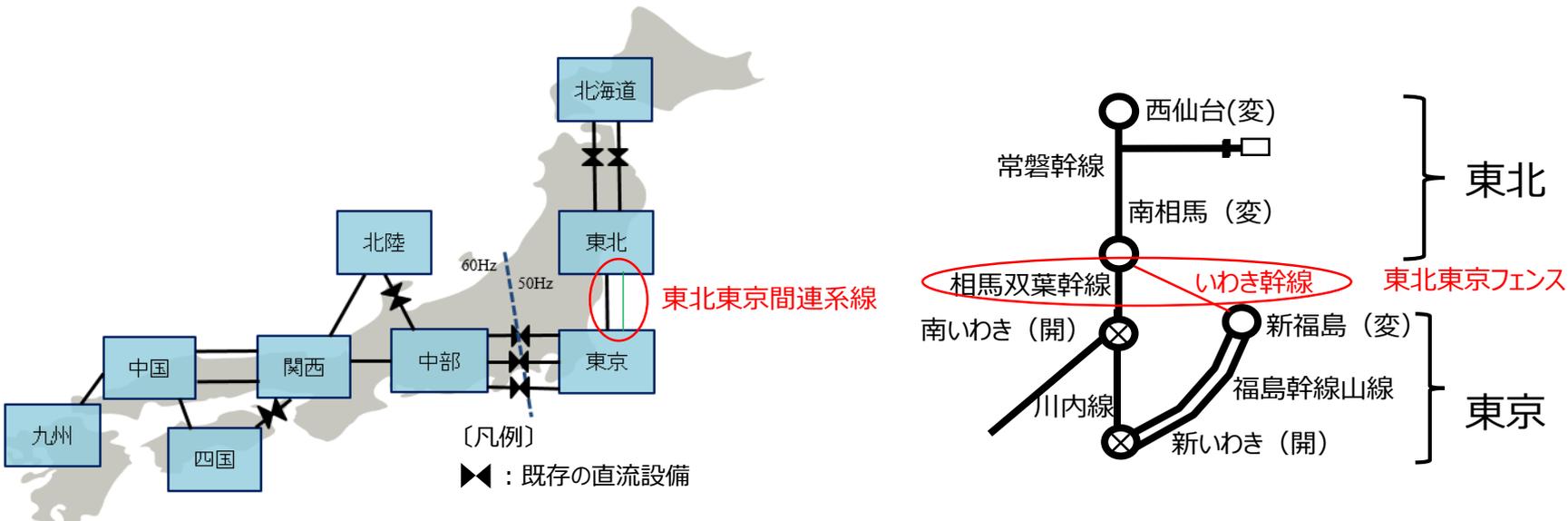
東北東京間連系線の短工期対策完了に伴う 連系線潮流の管理方法の変更について

2020年3月31日
電力広域的運営推進機関

電力取引及び再エネ導入拡大のための増強工事が2027年11月完了予定。
 それまでの間、相馬双葉幹線に加え、既設のいわき幹線を使って送電容量を拡大する対策（短工期対策）を実施し、2020年4月より南相馬変電所と新しいわき開閉所との間は
 ループ系統（相馬双葉幹線といわき幹線の2ルートの環状系統）とした運用を開始する。



上記の運用を行うため、相馬双葉幹線といわき幹線の潮流の合計（フェンス潮流）で連系線潮流を管理する。



2020年4月2日15時より、東北東京間連系線の短工期対策完了に伴い連系線潮流の管理方法を変更します。系統情報公表等の今後の主なスケジュールを以下に記載します。

- ✓ 3/31 15時 翌々日公表（4/2分）
- ✓ 4/1 10時 前日スポット市場（4/2分）
- ✓ 4/1 17時 翌日公表（4/2分）
- ✓ 4/1 17時 1時間前市場開場（4/2分）
- ✓ 4/2 15時 短工期対策完了に伴い連系線潮流の管理方法を変更する

- 東北東京間連系線の増強工事及び短工期対策については、以下を参照ください。
(第39回 広域系統整備委員会 資料3 P.6,9)
https://www.occto.or.jp/iinkai/kouikikeitouseibi/2018/seibi_39_shiryu.html
- ループ系統の運用容量については、以下を参照ください。
(第30回 広域系統整備委員会 資料3 P.5)
https://www.occto.or.jp/iinkai/kouikikeitouseibi/2017/seibi_30_siryu.html